

## 宅地建物取引士の登録申請を実務経験に基づいて行う場合の注意事項

宅地建物取引士の登録をする際、実務経験に基づいて申請する場合は「**実務経験証明書**」と「**従業者名簿**」の添付が必須になります。

以下は、特に間違いの多いポイントですので、十分注意のうえ、申請をしてください。

○実務経験証明書○	
1	氏名にはフリガナが記載されているか。
2	職務内容、従業者証明書番号が従業者名簿と一致しているか。
3	在職期間が申請時から過去10年以内に2年以上あるか。
4	代表者印は、免許申請書と同じものを使用しているか。
5	申請者が役員でないか。 ※代表者や役員（取締役、理事等）の実務経験証明書を作成する場合は、一般の従業者とは証明方法が異なります（他の宅地建物取引業者による証明が必要です）ので、事前に愛知県建設部建設業不動産課（052-954-6582）まで確認してください。なお、監査役については、その在任期間は実務経験として認められません。

○従業者名簿○							
1	事務所に備え付けている従業者名簿をコピーしたものであるか。						
2	<p>原本証明してあるか。 ※右の記載例を参考にしてください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>この写しは原本と相違ないことを証明する。 平成〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇 [代表者印]</p> </div>						
3	氏名、生年月日、住所等の記載内容に間違いがないか。						
4	在職期間が申請時から過去10年以内に2年以上あるか。						
5	<p>従業者証明書番号は正しく付せられているか。</p> <p>①最初の2桁・・・宅地建物取引業の従業者となった年の西暦の下2桁（例：2008年の場合は「08」と記載）。</p> <p>②中央の2桁・・・宅地建物取引業の従業者となった月（例：1月の場合は「01」と記載）。</p> <p>③最後の2桁・・・宅地建物取引業の従業者となった順番（通し番号）。</p> <p>※最後の2桁が重複している場合がありますので注意してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto;"> <p>従業者証明書番号</p> <table style="text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">〇〇</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">〇〇</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">〇〇</td> </tr> <tr> <td style="border: none; padding: 2px;">①</td> <td style="border: none; padding: 2px;">②</td> <td style="border: none; padding: 2px;">③</td> </tr> </table> </div>	〇〇	〇〇	〇〇	①	②	③
〇〇	〇〇	〇〇					
①	②	③					
6	<p>免許申請時から在籍している従業者の「この事務所の従業者となった年月日」が宅地建物取引業者免許証を受け取った日となっているか。</p> <p>※免許日ではありませんので、注意してください。</p>						